

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【木崎小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】 自分が何を学んだか理解し、学びを積み重ね自己調整していくことに課題がある。</p> <p>【指導上の課題】 児童が自らの学びを振り返る時間が十分でない。</p>	⇒ 自らの学びをメタ認知できるように、学びを振り返る時間を確保する。その振り返りから次の学びの課題を設定させるようにする。【毎時間設定】
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】 課題に対して友だちと助け合ったり、伝え合ったりしながら学んでいくことへの意欲に課題がある。</p> <p>【指導上の課題】 意図的に協働的に学ぶ時間を設ける。協働的に学ぶよさを教師が価値付ける。</p>	⇒ 学校課題研修の中で学習の流れに協働的な学びを位置付け、どの教科でも実施できるようにする。【毎時間設定】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語は、全ての問題で埼玉県・全国の平均正答率を上回り、算数は1問埼玉県・全国の平均正答率を下回った。以上の結果から概ね理解できているといえる。R6年度さいたま市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」における肯定的な回答の割合は87.8%であり、継続的な指導が結果に結び付いたと考える。今後も何を理解して、何が理解できなかったのかを振り返る時間を確保しながら、次の学びへとつなげる授業を続けていく。</p>	
思考・判断・表現	<p>算数は、全ての問題で埼玉県・全国の平均正答率を上回り、国語は1問埼玉県・全国の平均正答率を下回った。以上の結果から概ね身に付いているといえる。国語の物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書くことにおいては課題がみられた。読んで感じたことや考えたことを記述することに課題がみられたため、今後は、「読むこと」の学習と読書活動の関連を意識して指導し、「読むこと」の資質・能力を高めつつ、日常的に読書に親しむことができる児童の育成を目指す。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	A	毎時間学びを振り返る時間を確保することで、次の学びの課題を設定する子どもの姿が見られた。振り返りを継続的にフィードバックできる手立てを検討していく。	変更なし
思考・判断・表現	A	どの教科でも協働的な学びを実施することを位置付け実施している。考えを共有したり、課題解決をするために協働したりするためにクラウドを効果的に使う手立てを検討していく。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)